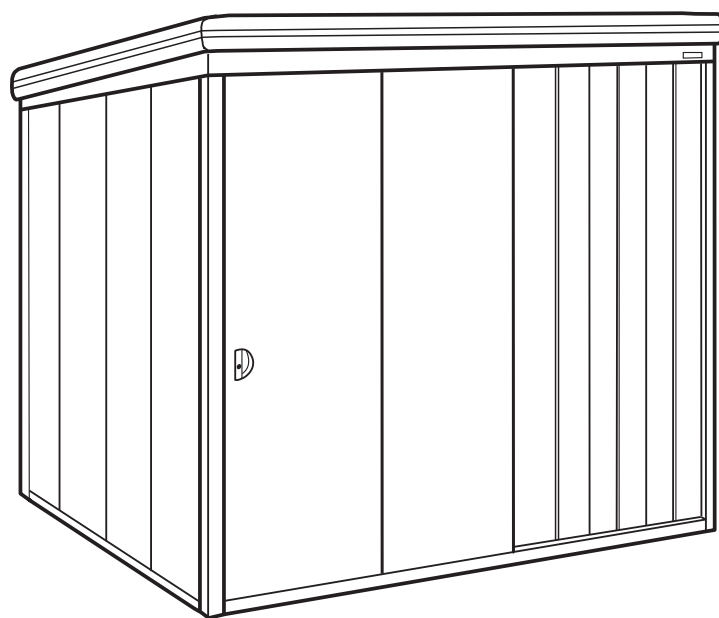
14.9集

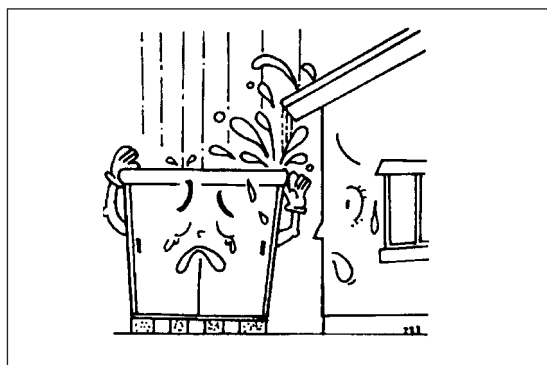
ガーデンハウス「のぞみ」
組　立　説　明　書
DM－K1715・2115・2515型

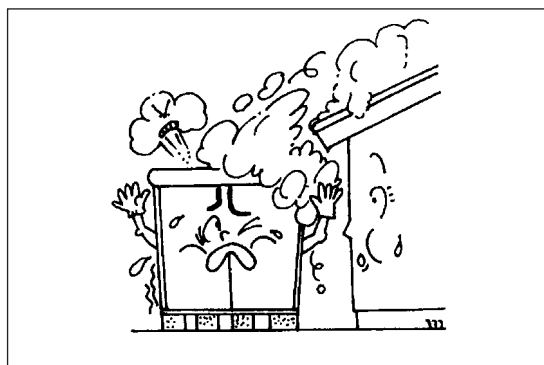
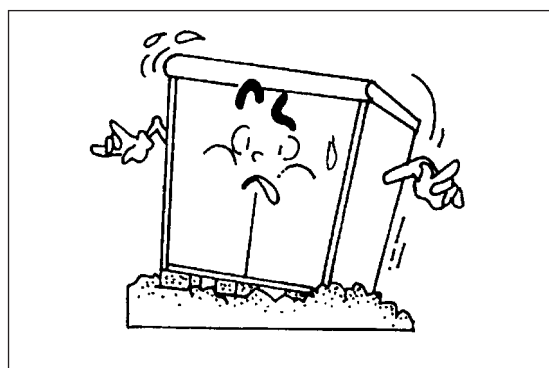
●この度はダイケン物置をお買い上げいただきありがとうございます。
●組み立ての前に必ず当説明書をよくお読みのうえ組み立ててください。
●組み立て完了後組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

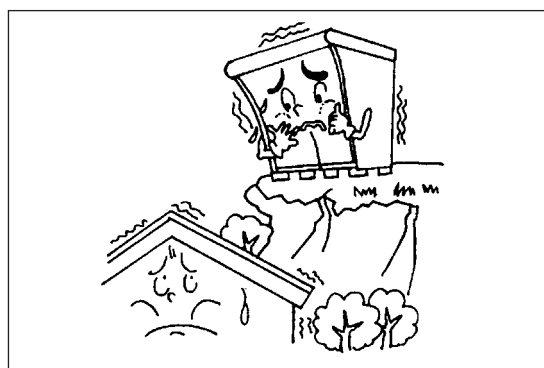
〈完成図〉

設置場所について

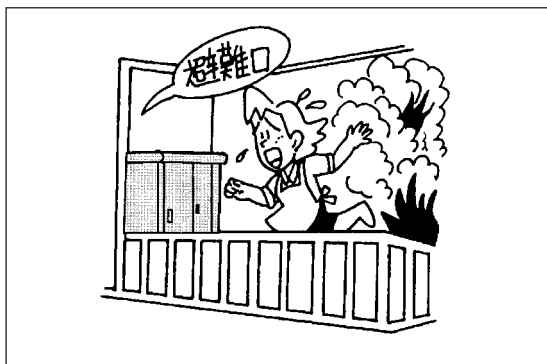
⚠ 注意 次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

屋根から雨水が直接物置に落ちない場所へ設置してください。

※雨もりの原因になる可能性があります。

屋根から雪が直接物置に落ちない場所へ設置してください。

※破壊又は、倒壊してケガをしたり、収納物に被害を与える可能性があります。

地盤がやわらかい場所は地固めを行ってから設置してください。

屋上やがけぎわなど安全の確認のできない場所へは設置しないでください。

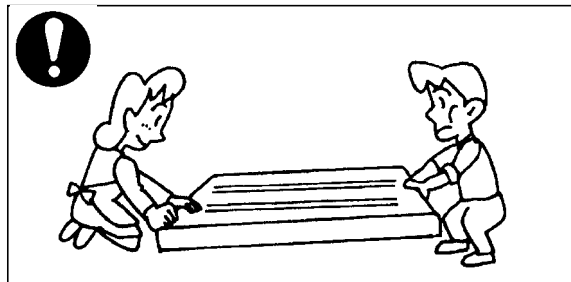
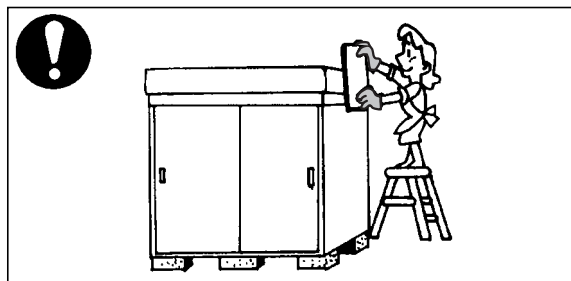
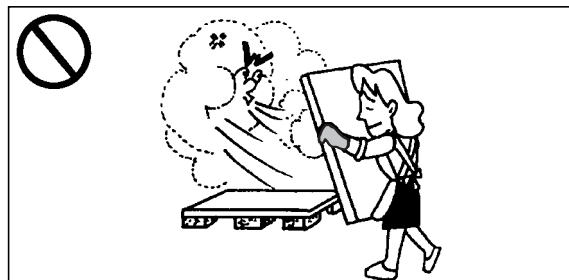
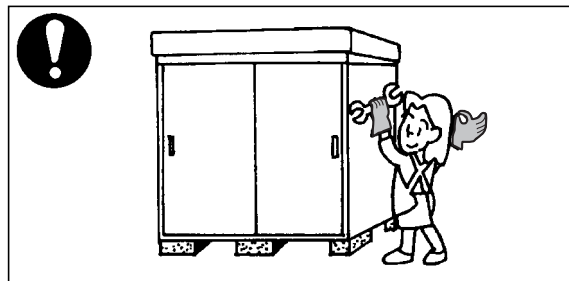
※強風により転倒破壊し、部材の落下などの可能性があります。

ベランダなどの避難口には、設置しないでください。

※非常の場合、避難通路として使えなくなります。

組立施工について

⚠ 注 意 次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

組立前に、まず組立説明書をよくお読みください。

組立時は手袋を着用してください。
※部材の角などでケガをする場合があります。

重量部材(特に30kg以上)の運搬は、二人以上で行ってください。
※一人で無理をされると、ケガをしたり、腰を痛めたりする可能性があります。

踏み台又は脚立などを使用してください。

風の強い日は組立作業をしないでください。又、組立途中では放置しないでください。
※強風の為、部材の転倒による破損、または部材が飛んでケガなどの原因になります。

組立て後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか、もう一度確かめましょう。
※強度の確保が出来なくなります。

アンカー工事などの転倒防止工事は必ず行ってください。
※倒壊または破損して、ケガをしたり、収納物に被害を与えます。

改造しないでください。又、電気配線は専門業者にご相談下さい。
※物置本来の性能を損ない、ケガ、破損の原因になります。

寸　　法　　図

●寸法図　（単位mm）

	1715型	2115型	2515型
A	1720	2120	2520
B	1520	1520	1520
C	1800	2200	2600
D	1710	1710	1710
E	985	1000	1400

基礎・ブロックの施工

設置場所が『土』等の場合	設置場所がコンクリートの場合
土台 柱 アンカープレート 軽量ブロック 100 138 400 コンクリート □300×400 150　150 ぐり石 50	土台 アンカープレート 軽量ブロック 100 オールアンカーM10 （市販品を使用して下さい。）

1715型

20　1720　20
アンカープレート
150　150　95　190　15
1730
723　1540　817
300　130
15　190　300　95
150　150
860　860
240　1720　240
▲
正面

基礎ブロックの施工

2115型
20
2120
20
アンカープレート
150
150
95
190
15
1730
723
1540
817
300
130
15
150
190
300
150
95
1060
1060
240
2120
240
正面
2515型
20
2520
20
アンカープレート
150
150
95
190
15
1730
723
1540
817
300
130
15
150
190
300
150
95
895
730
895
240
2520
240
正面

梱　包　表

DM-K 1715型

梱包番号		梱包名	部材名	数量
①	M 1-0110	部品箱	棚受	8
			付属部品(組立説明書入)	(別表)
②	M 1-0201	間口部材	正面土台	1
			後部土台	1
			根太	1
			母屋	1
			床板押え	1
			正面横桟	1
			後部横桟	1
③	M 1-0301	化粧廻り	正面桁	1
			後部桁	1
			鼻隠し	1
			雨樋	1
④	M 1-0402	奥行部材	左土台	1
			右土台	1
			床板調整	1
			左梁	1
			右梁	1
			屋根パネル小	1
			左横桟	1
			右横桟	1
⑤	M 1-0501	柱	正面左柱	1
			正面右柱	1
			後部左右柱	2
			正面中柱	1
			パネルカバー	3
			棚受支柱	4
⑥	M 1-0601	引戸	引戸A	1
			引戸B	1
⑦	M 1-0705	壁パネル	壁パネル	5
⑧	M 1-0706	壁パネル	壁パネル	6
⑨	M 1-0720	壁パネル小	壁パネル小	2
⑩	M 1-0811	屋根パネル	屋根パネル	4
⑪	M 1-0911	床板	床板	4
⑫	M 1-1001	棚板	棚板8型	4

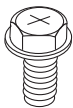
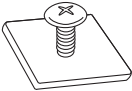
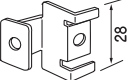
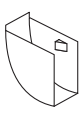
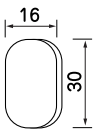
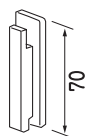
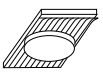
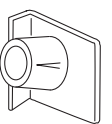
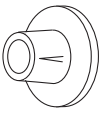
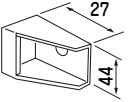
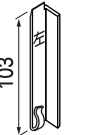
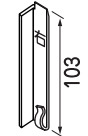
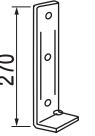
多雪型の場合は下記梱包が追加になります。

⑬	M 1-1101	耐雪補強	耐雪補強	1

DM-K 2115型

梱包番号		梱包名	部材名	数量
①	M 1-0103	部品箱	棚受	8
			付属部品(組立説明書入)	(別表)
②	M 1-0202	間口部材	正面土台	1
			後部土台	1
			根太	1
			母屋	1
			床板押え	1
			正面横桟	1
			後部横桟	1
③	M 1-0302	化粧廻り	正面桁	1
			後部桁	1
			鼻隠し	1
			雨樋	1
④	M 1-0402	奥行部材	左土台	1
			右土台	1
			床板調整	1
			左梁	1
			右梁	1
			屋根パネル小	1
			左横桟	1
			右横桟	1
⑤	M 1-0501	柱	正面左柱	1
			正面右柱	1
			後部左右柱	2
			正面中柱	1
			パネルカバー	3
			棚受支柱	4
⑥	M 1-0601	引戸	引戸A	1
			引戸B	1
⑦	M 1-0706	壁パネル	壁パネル	6
⑧	M 1-0707	壁パネル	壁パネル	7
⑨	M 1-0720	壁パネル小	壁パネル小	2
⑩	M 1-0804	屋根パネル	屋根パネル	5
⑪	M 1-0904	床板	床板	5
⑫	M 1-1001	棚板	棚板8型	4

多雪型の場合は下記梱包が追加になります。

⑬	M 1-1102	耐雪補強	耐雪補強	1

DM-K 2515型

梱包番号		梱包名	部材名	数量
①	M 1-0113	部品箱	棚受	8
			付属部品(組立説明書入)	(別表)
②	M 1-0204	間口部材	正面土台	1
			後部土台	1
			根太	1
			母屋	1
			床板押え	1
			正面横桟	1
			後部横桟	1
③	M 1-0303	化粧廻り	正面桁	1
			後部桁	1
			鼻隠し	1
			雨樋	1
④	M 1-0402	奥行部材	左土台	1
			右土台	1
			床板調整	1
			左梁	1
			右梁	1
			屋根パネル小	1
			左横桟	1
			右横桟	1
⑤	M 1-0501	柱	正面左柱	1
			正面右柱	1
			後部左右柱	2
			正面中柱	1
			パネルカバー	3
			棚受支柱	4
⑥	M 1-0602	引戸	引戸A	1
			引戸B	1
⑦	M 1-0707	壁パネル	壁パネル	7
⑧	M 1-0707	壁パネル	壁パネル	7
⑨	M 1-0720	壁パネル小	壁パネル小	2
⑩	M 1-0810	屋根パネル	屋根パネル	3
⑪	M 1-0810	屋根パネル	屋根パネル	3
⑫	M 1-0910	床板	床板	3
⑬	M 1-0910	床板	床板	3
⑭	M 1-1002	棚板	棚板12型	4

多雪型の場合は下記梱包が追加になります。

⑮	M 1-1103	耐雪補強	耐雪補強	1

付属部品 (部品箱明細)

（　）内は予備数です。

袋名称	部品名	形状	数量		
			1715	2115	2515
ビス袋A	六角ボルト M6×16 (メッキ品)		145 (2)	160 (2)	169 (2)
ビス袋B	六角タッピンねじ M6×16 (メッキ品)		9 (2)	9 (1)	11 (1)
金具袋	壁金具 (メッキ品)		18 (1)	20 (1)	21 (1)
キャップ袋A	M6 六角ボルトキャップ (ブラウン色)		23 (1)	23 (1)	23 (1)
キャップ袋B	M6 六角ボルトキャップ (グレー色)		24 (1)	26 (1)	29 (3)
キャップ袋C	鍵穴キャップ (グレー色)		1	1	1
	正面柱キャップ (グレー色)		1	1	1
	穴栓φ5 (グレー色)		6 (2)	6 (0)	6 (0)
	横桟キャップ (グレー色)		1	1	1
	正面桁コーナー左 (ブラウン色)		1	1	1
	正面桁コーナー右 (ブラウン色)		1	1	1
S字フック袋	S字フック (白色)	耐荷重5kg	3	3	3

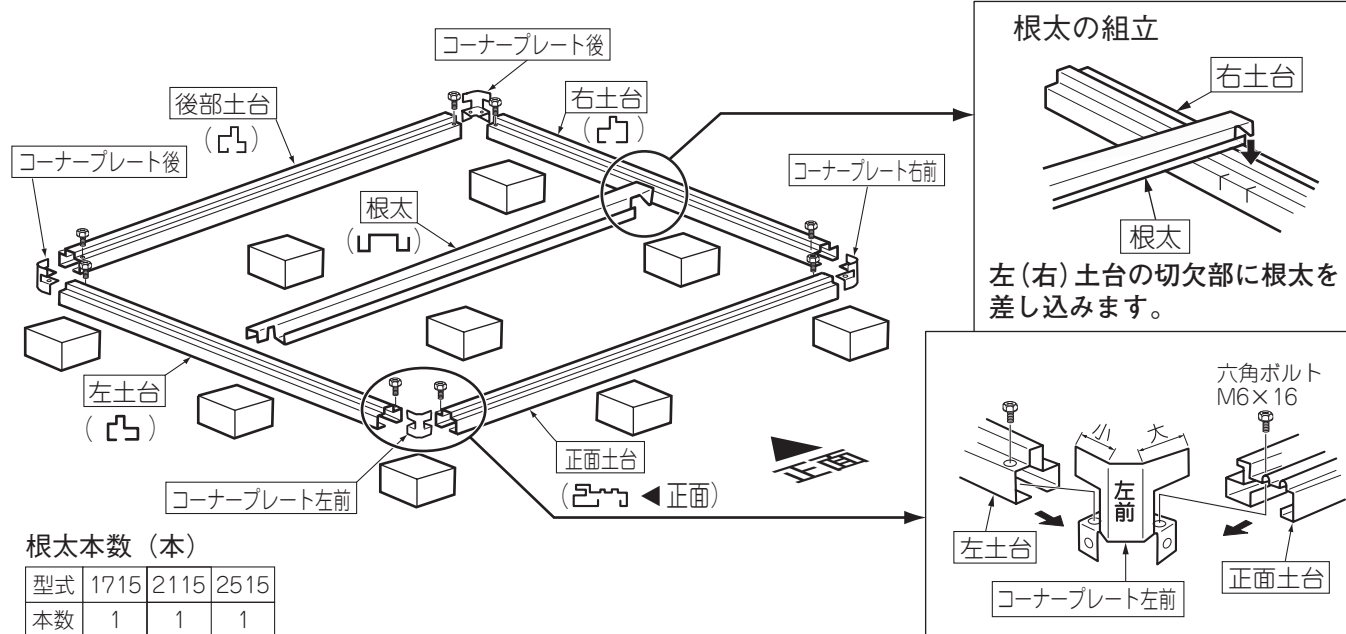
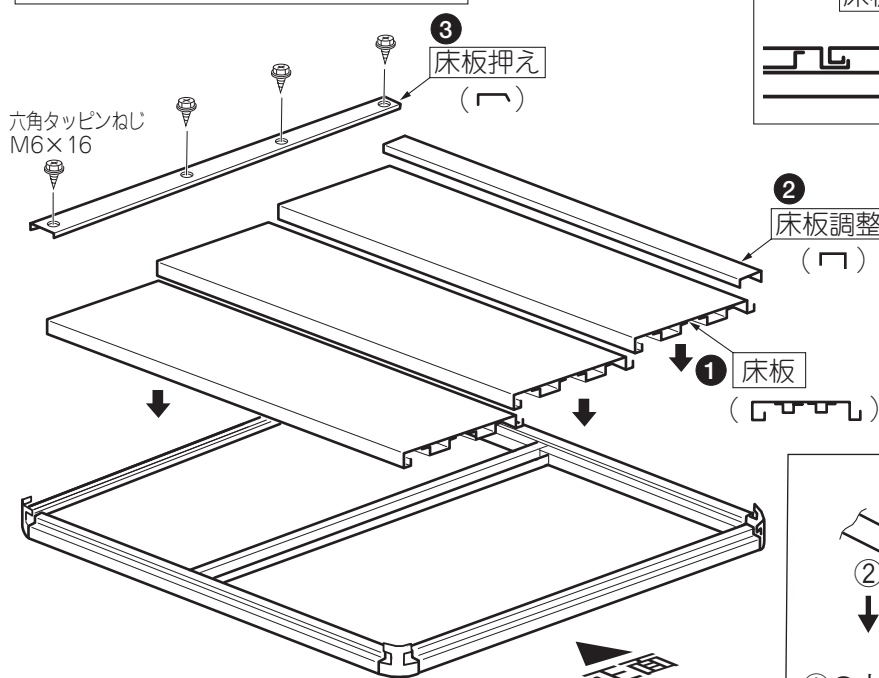
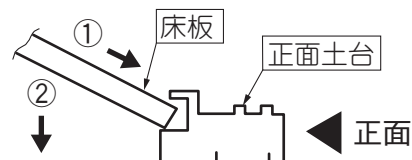
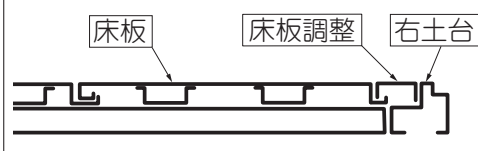
袋名称	部品名	形状	数量		
			1715	2115	2515
PEチェーン袋	PEチェーン (白色)	ℓ=2000	1	1	1
棚柱固定用ビス袋	棚受支柱止め金具 (メッキ品)		4	4	4
棚板・棚受固定用ビス袋	なべタッピンねじ 6×12 (メッキ品)		8	8	8
	棚受キャップ (グレー色)		8	8	8
柱クッション袋	柱クッション		3		
雨樋止まり袋	雨樋止まり		1	1	1
PEチェーン固定金具袋	PEチェーン固定金具		1	1	1
	コーナープレート 左前		1	1	1
	コーナープレート 右前		1	1	1
	コーナープレート 後 (後は左右兼用)		2	2	2
	アンカープレート (グレー色)		4	4	4
	組立説明書	A4版 小冊子	1	1	1
	取扱説明書	A5版 小冊子	1	1	1
	保証書	A5版	1	1	1
	型式表示シール		1	1	1

組　立　前　に

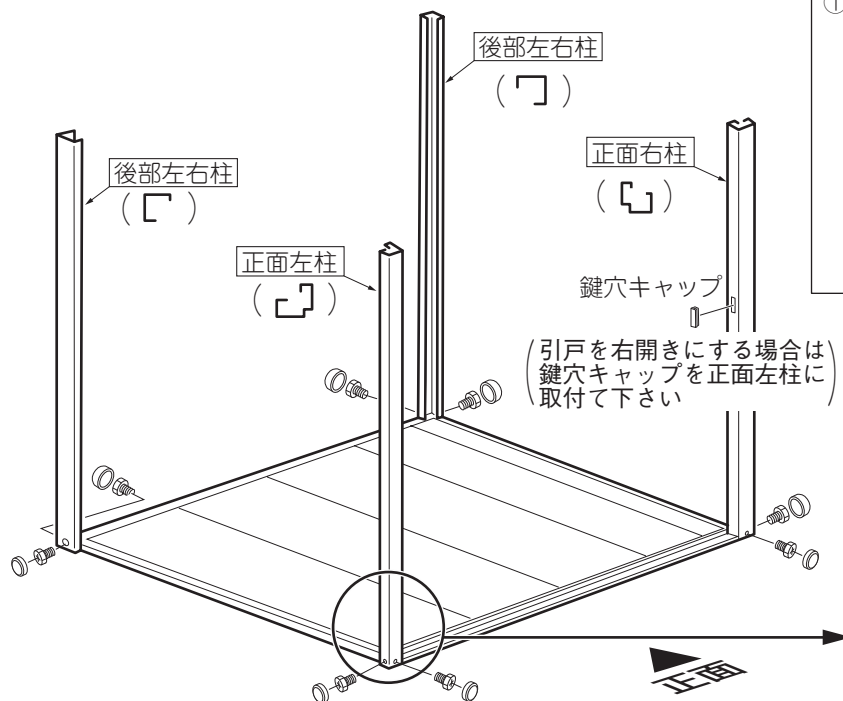
●設置場所を水平に地ならししてください。
●基礎ブロックの施工に基づき、ブロックを敷き、そのうえに土台を並べ、水平器にて前後・左右の水平状態を確認してください。
●基礎を水平にすることにより、組立が楽になります。
（レベルの低いブロックには、土やモルタルを入れ、調整してください。）

①土台・根太の組立　～基礎ブロックの上に土台を置き、コーナープレートとボルト止めします。

根太本数（本）

型式	1715	2115	2515
本数	1	1	1

②床板の組立　～床板を土台の上に設置します。

※正面から見て左側から組立てください。

③柱の組立　～柱を土台に取付けます。

鍵穴キャップの取付方法

①上部差し込む　②押す　③下へおとす

後部左右柱

後部左右柱

正面左柱

正面右柱

鍵穴キャップ

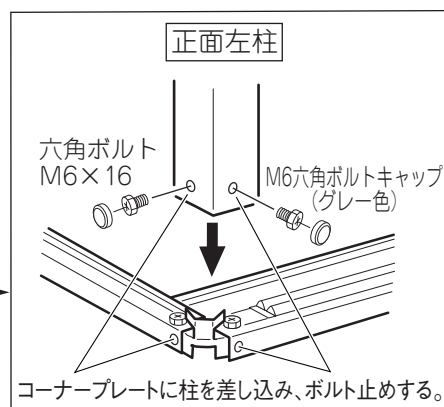
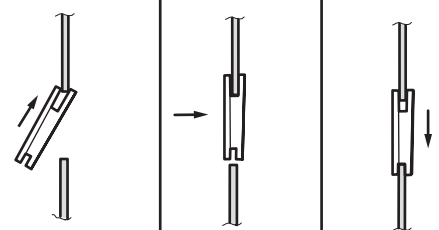
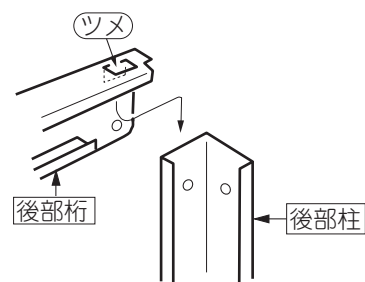
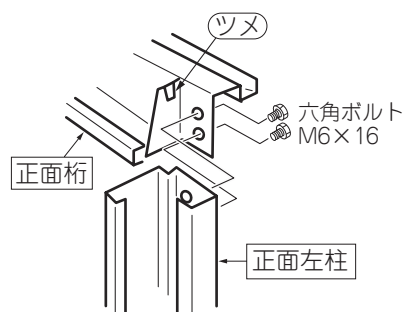
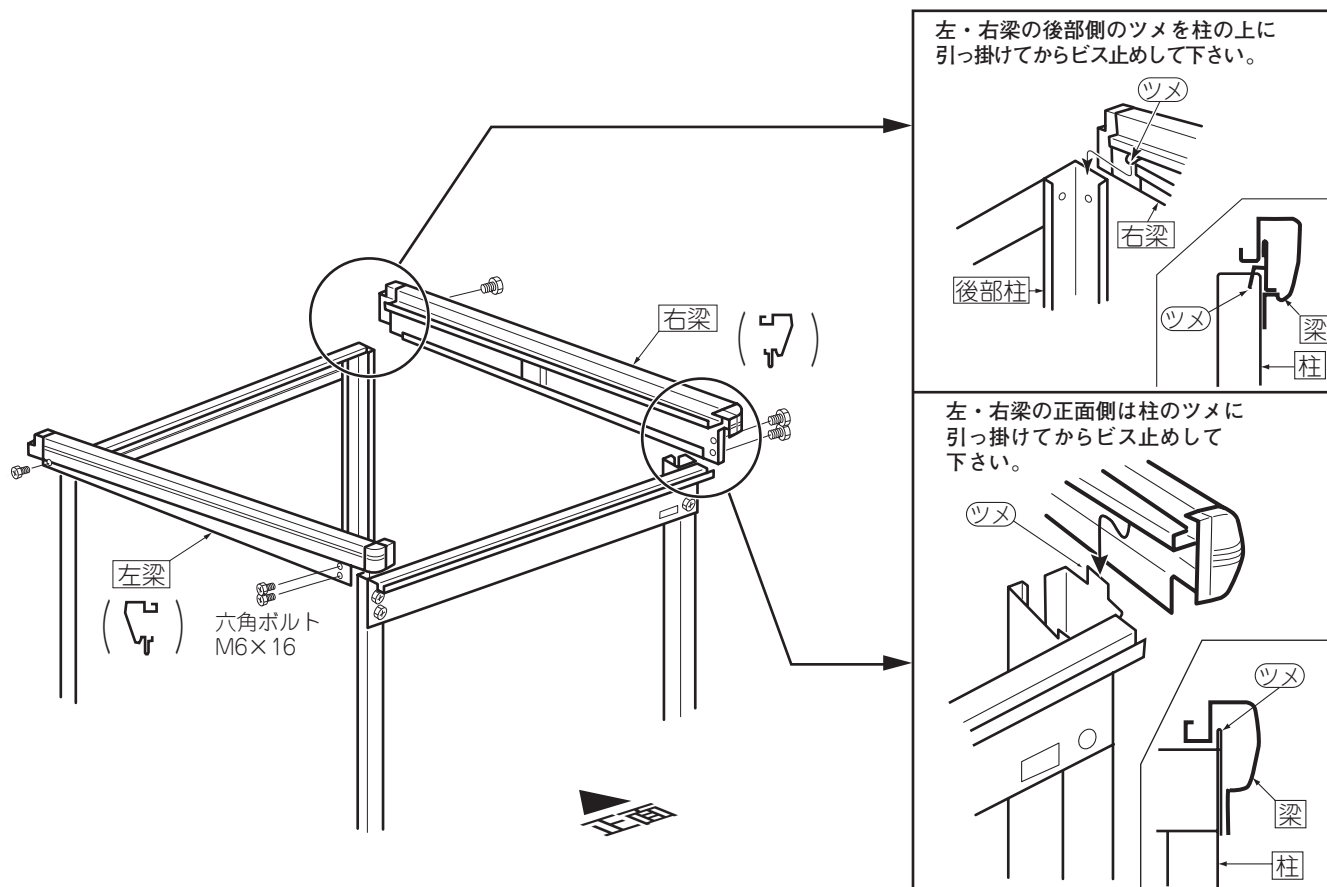
（引戸を右開きにする場合は鍵穴キャップを正面左柱に取付て下さい）

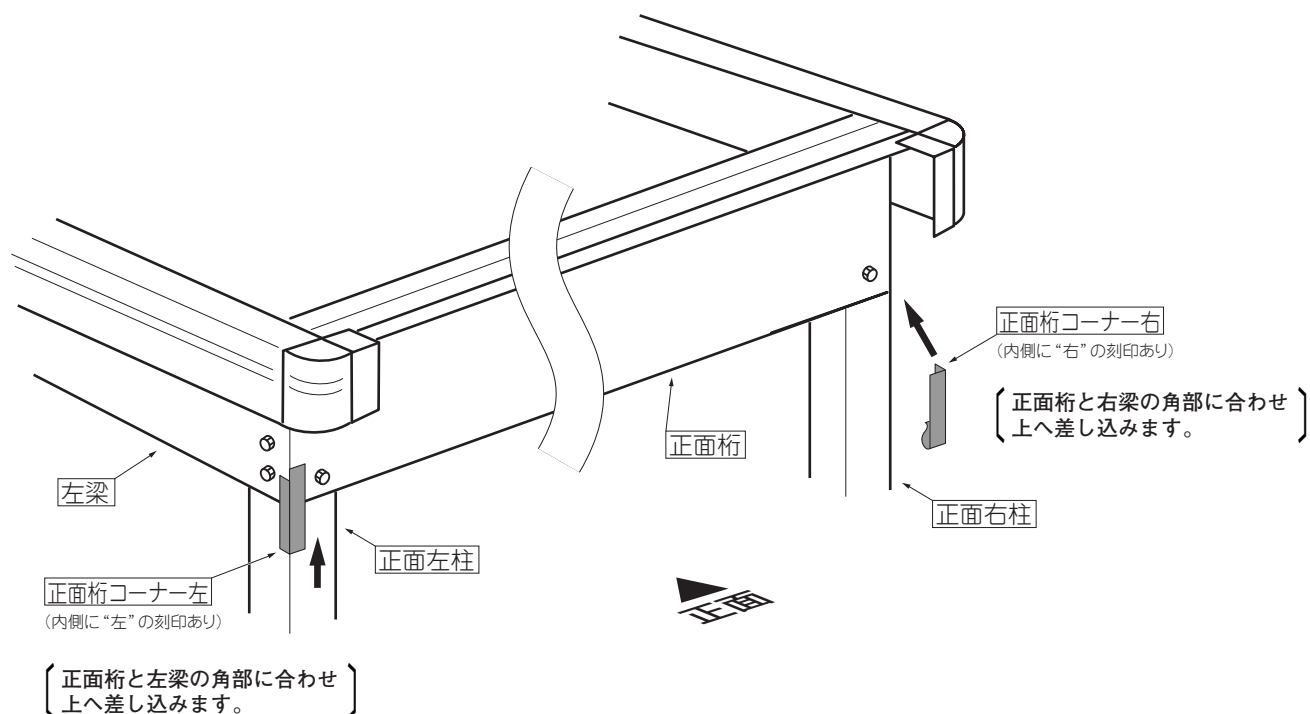
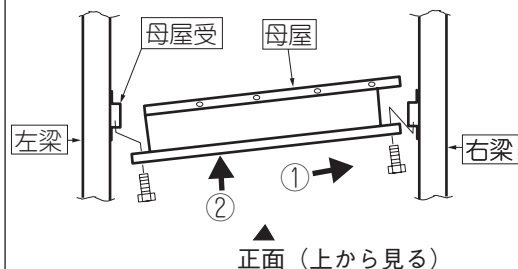
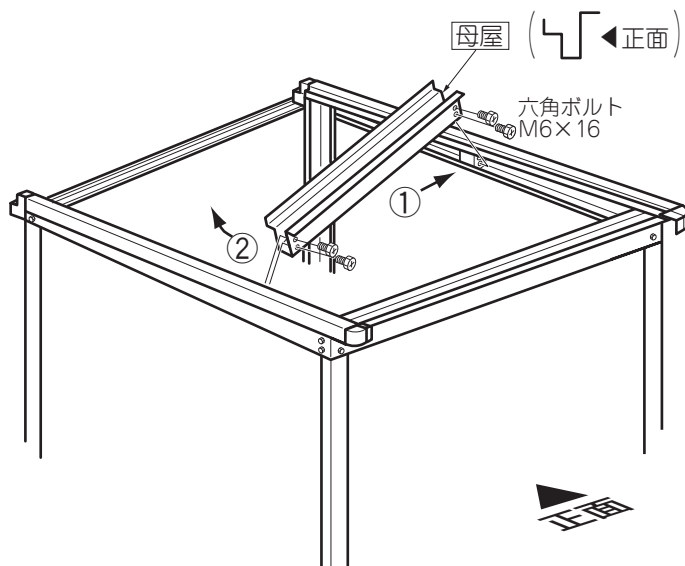
正面

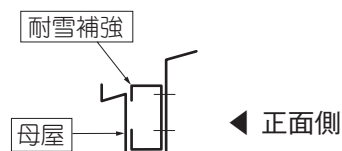
正面左柱

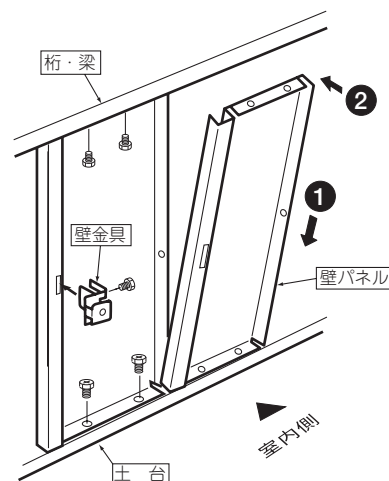
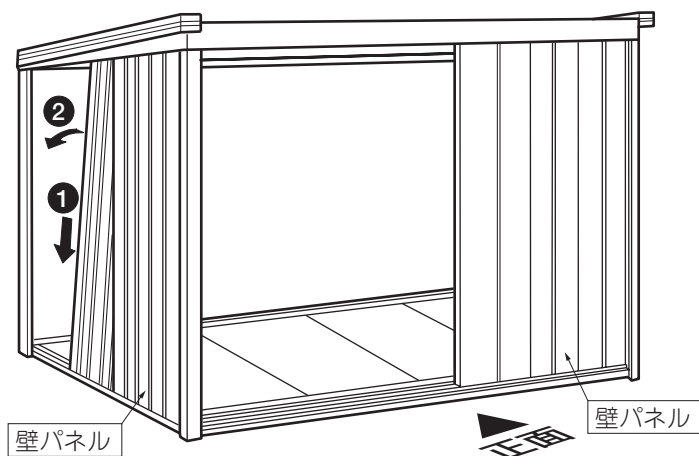
六角ボルト
M6×16

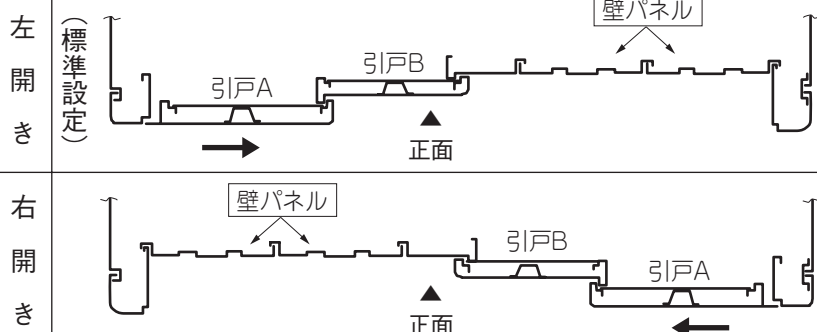
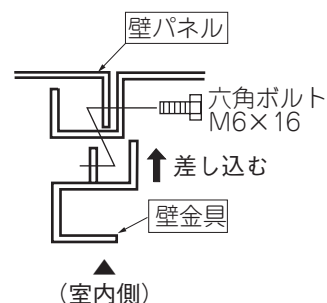
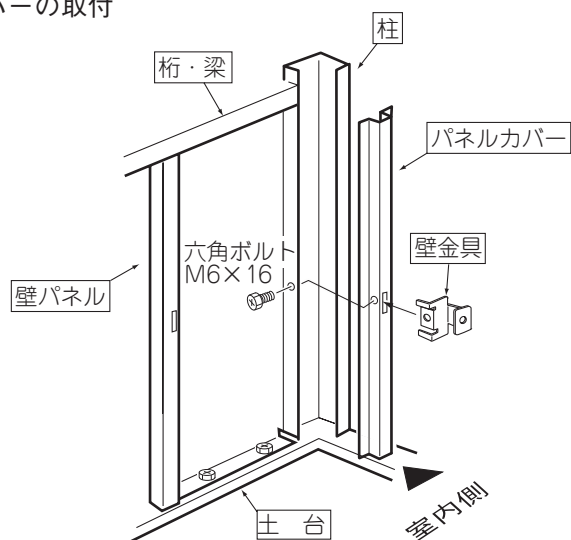
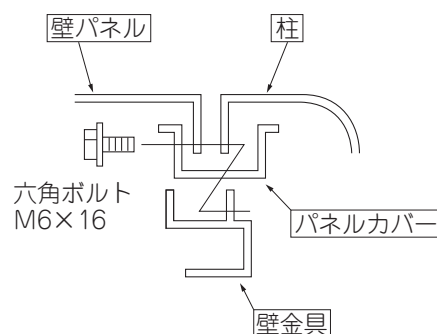
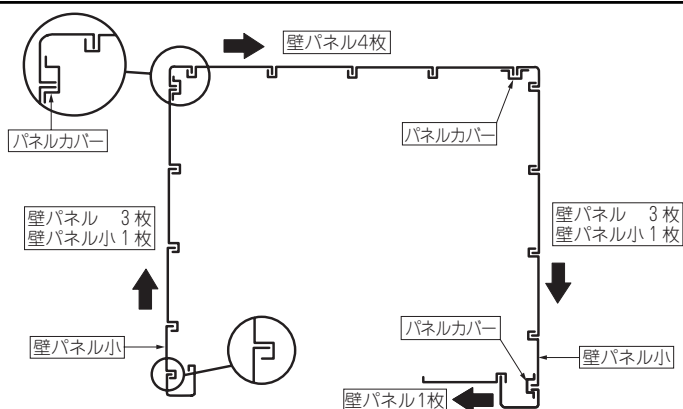
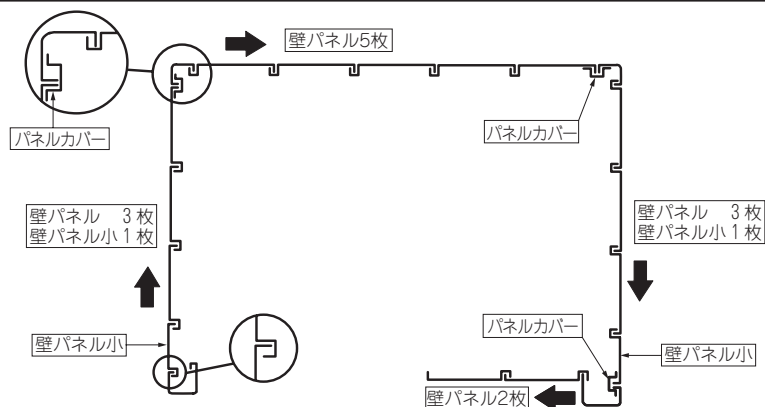
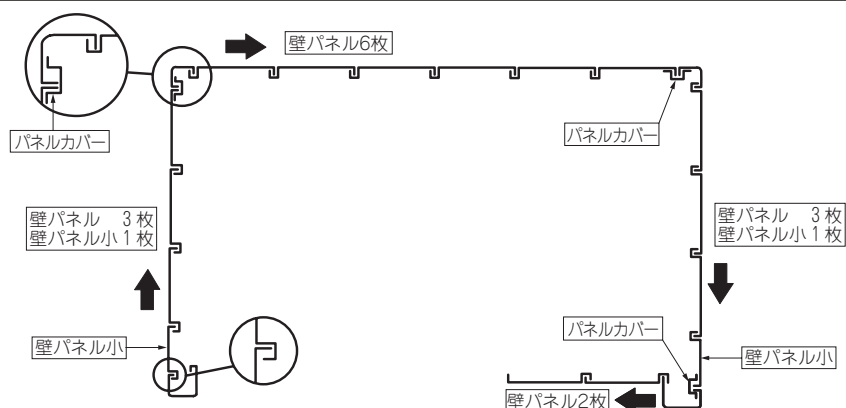
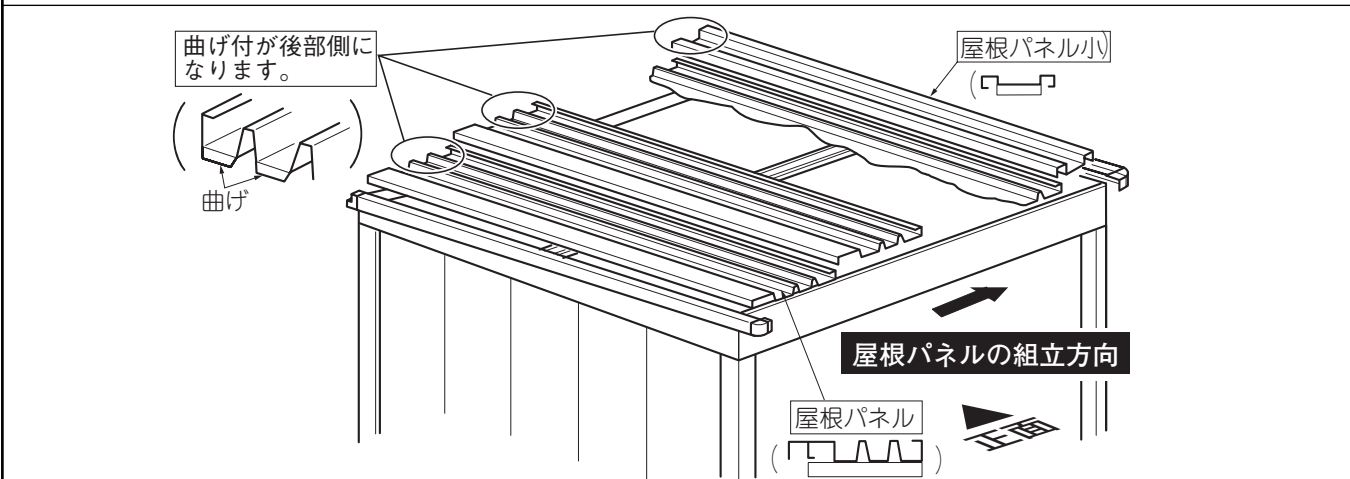
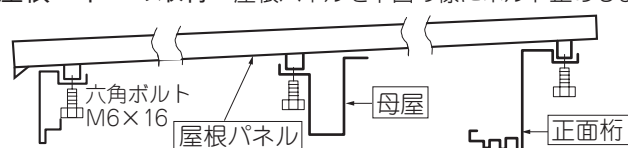
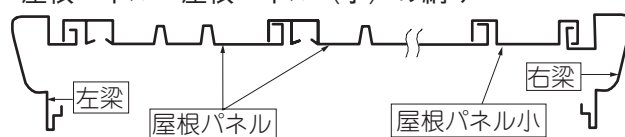
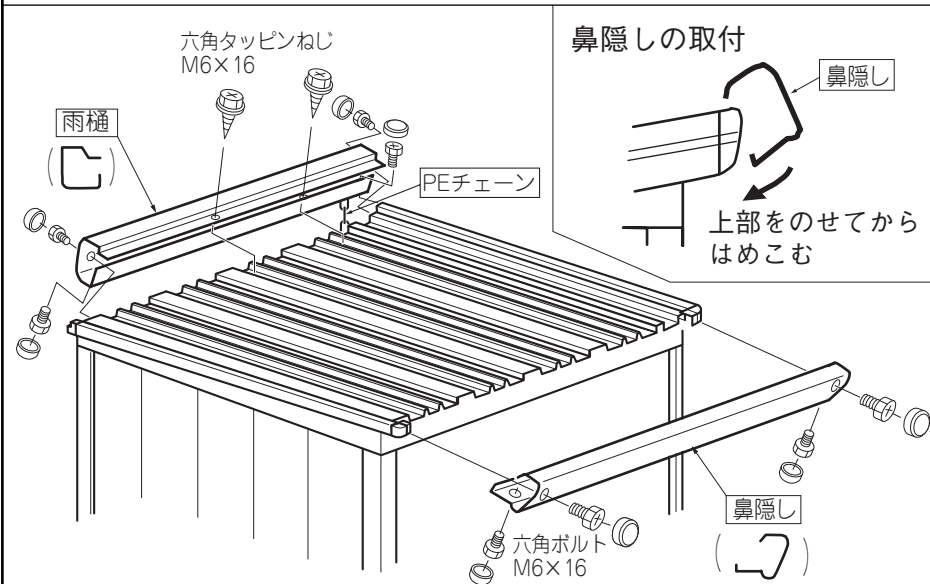
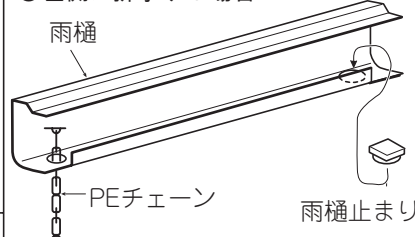
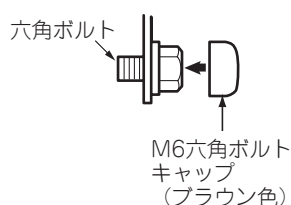
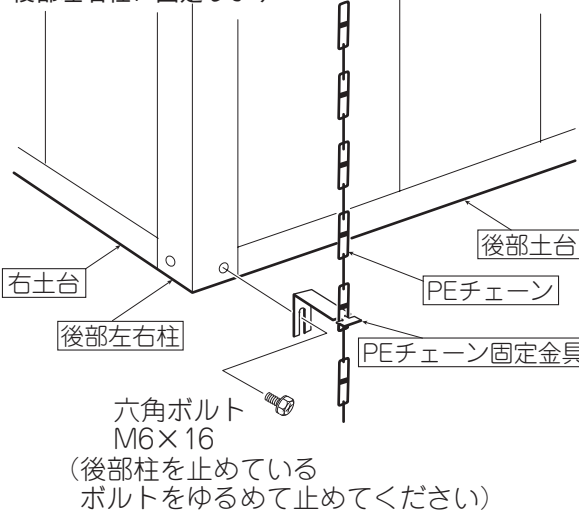
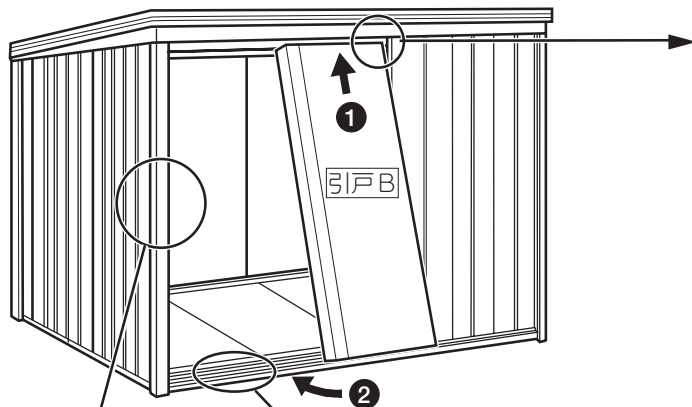
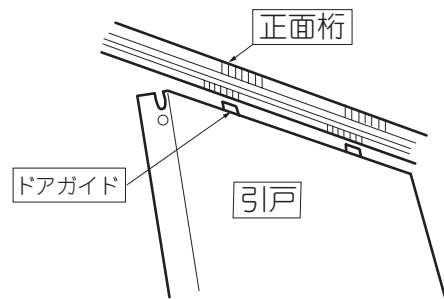
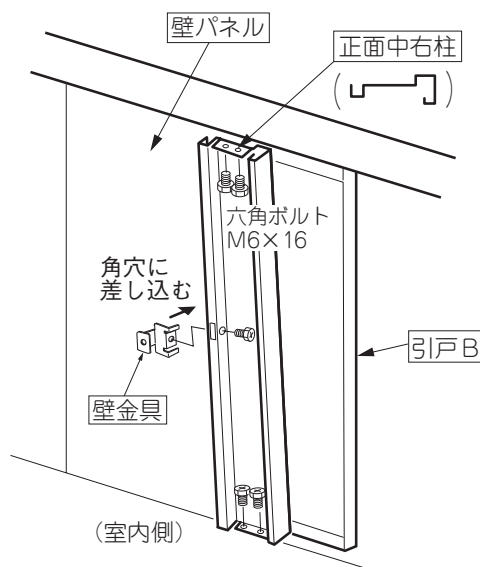
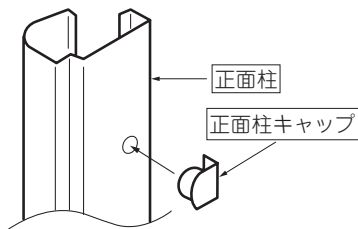
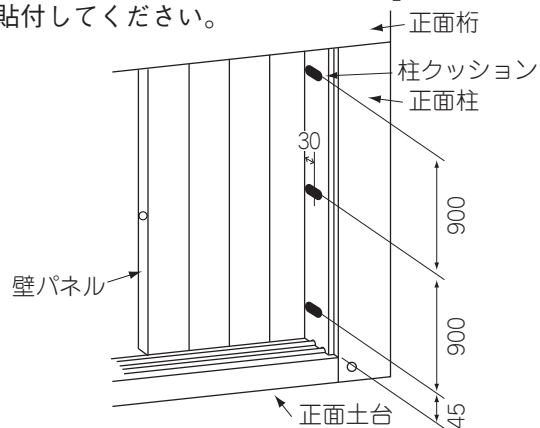
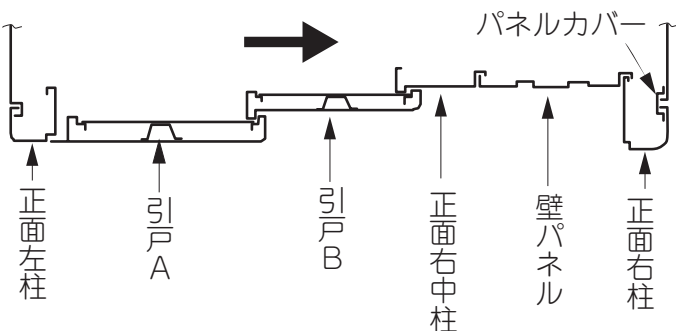
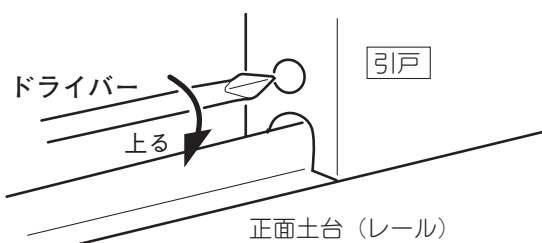
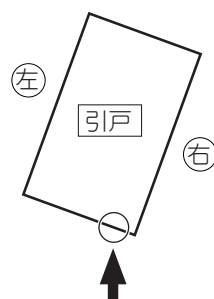
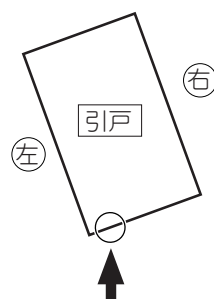
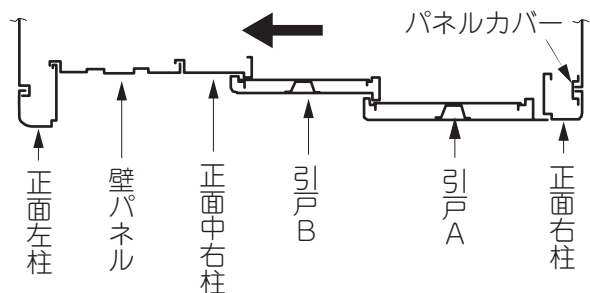
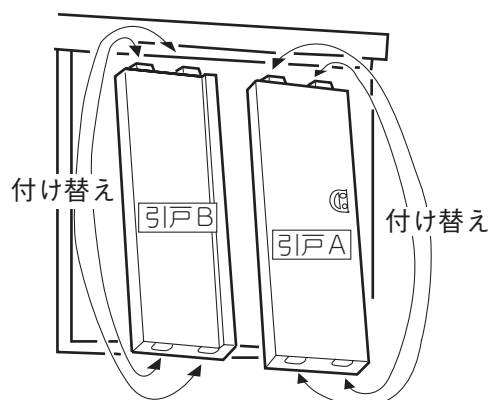
M6六角ボルトキャップ
（グレー色）

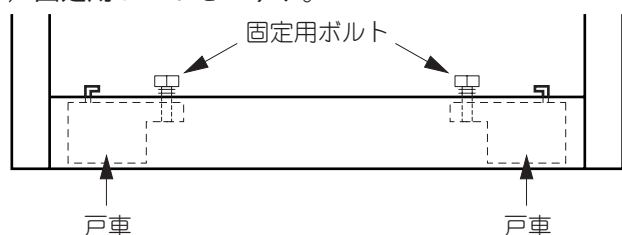
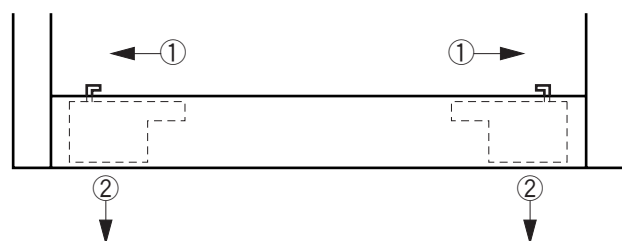
コーナープレートに柱を差し込み、ボルト止めする。

④桁の組立　～正面桁・後部桁を柱に取付けます。

⑤梁の組立　～左梁・右梁を柱に取付けます。

● 左梁・右梁を取付け後、『正面桁コーナー左・右』を取付けます。

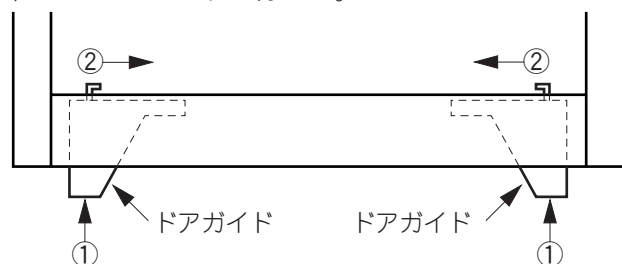
正面桁と左梁の角部に合わせ
上へ差し込みます。

⑥母屋の組立 ～母屋を梁に取付けます。

①母屋を右梁側の母屋受に先に差し込む。
②左梁側を合わせてボルト止めして下さい。

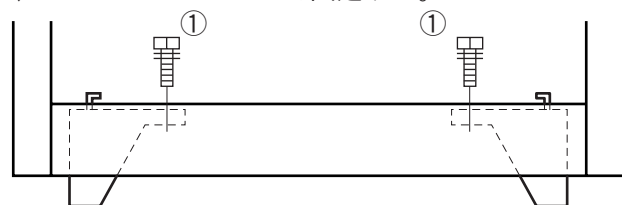
※多雪型の場合

① 母屋 の中に 耐雪補強 を入れる。
②通常の母屋の組立と同じ様に取り付けて下さい。

⑦壁パネルの組立 ～壁パネルを全面に取付けます。

● 引戸の開き方向により正面側の壁パネルの位置が変わります。
右開きの時は壁パネルを左側に取付て下さい。

壁パネル中央部の固定

パネルカバーの取付
柱
桁・梁
パネルカバー
六角ボルト
M6×16
壁金具
壁パネル
土 台
室内側
パネルカバー部の詳細
壁パネル
柱
六角ボルト
M6×16
パネルカバー
壁金具
※矢印（ ）は 壁パネル の組立順番をしめしています。
1715型 （左開き）
壁パネル4枚
パネルカバー
パネルカバー
壁パネル 3枚
壁パネル小 1枚
壁パネル 3枚
壁パネル小 1枚
壁パネル小
パネルカバー
壁パネル小
壁パネル1枚
2115型 （左開き）
壁パネル5枚
パネルカバー
パネルカバー
壁パネル 3枚
壁パネル小 1枚
壁パネル 3枚
壁パネル小 1枚
パネルカバー
壁パネル小
壁パネル小
壁パネル2枚
2515型 （左開き）
壁パネル6枚
パネルカバー
パネルカバー
壁パネル 3枚
壁パネル小 1枚
壁パネル 3枚
壁パネル小 1枚
パネルカバー
壁パネル小
壁パネル小
壁パネル2枚

⑧屋根パネルの組立 ～屋根パネルを向かって左側より取付けます。
曲げ付が後部側になります。
曲げ
屋根パネル小
屋根パネルの組立方向
屋根パネル
正面
屋根パネルの取付～屋根パネルを下図の様にボルト止めします。
六角ボルト M6×16
屋根パネル
母屋
正面桁
屋根パネル・屋根パネル（小）の納り
左梁
屋根パネル
屋根パネル小
右梁
⑨鼻隠し・雨樋の組立 ～鼻隠し・雨樋を下図の様に取付けます。
六角タッピンねじ M6×16
雨樋
PEチェーン
鼻隠し
六角ボルト M6×16
鼻隠しの取付
鼻隠し
上部をのせてから はめこむ
雨樋の組立
①雨樋止まりのハクリ紙をはがす
ハクリ紙
②不要の排水穴のところに内側より 貼り付ける
雨樋
雨樋止まり
大
小
●左側に排水する場合
雨樋
PEチェーン
雨樋止まり
●右側に排水する場合
雨樋
PEチェーン
雨樋止まり
※正面桁・後部桁・左梁・右梁・鼻隠し・雨樋の六角ボルトの頭にM6六角ボルトキャップ（ブラウン色）をはめ込んで下さい。
六角ボルト
M6六角ボルト キャップ （ブラウン色）
PEチェーンにPEチェーン固定金具を差し込み金具を後部左右柱に固定します
後部土台
右土台
PEチェーン
後部左右柱
PEチェーン固定金具
六角ボルト M6×16 （後部柱を止めている ボルトをゆるめて止めてください）
雨樋の取付
屋根パネル
雨樋
上部を のせてから はめこむ

⑩引戸・正面中柱の組立 〜引戸・正面中柱を下記の順で取付けます。
取付順序 ※取付順を間違えないよう組み立ててください。
引戸B → 引戸A → 正面中右柱
正面桁
ドアガイド
引戸
正面桁の角穴に『ドアガイド』差し込む
❶
引戸B
❷
引戸A（
）
引戸B（
）
●正面中柱の取付（※引戸取付後に組立）
壁パネル
正面中右柱
六角ボルト
M6×16
角穴に
差し込む
引戸B
壁金具
（室内側）
●壁パネルを取付ない正面柱に
正面柱キャップをつける。
正面柱
正面柱キャップ
●壁パネルの取付ない穴に
『穴栓φ5』をはめ込んでください。
穴栓φ5
正面土台
●K1715型は正面柱に『柱クッション』を
貼付してください。
正面桁
柱クッション
正面柱
30
900
900
45
壁パネル
正面土台
※右開きの場合は反対側の正面柱に貼付してください。
左開きの場合（標準設定）
パネルカバー
正面左柱
引戸A
引戸B
正面右中柱
壁パネル
正面右柱
●戸車の調整
引戸がかたむいている場合、
調整して下さい。
ドライバー
上る
引戸
正面土台（レール）
左側があがっている場合
左
引戸
右
右側の戸車を調整する。
右側があがっている場合
右
引戸
左
左側の戸車を調整する。

●右開きにする場合

戸車 及び ドアガイド を上下付け替えて下さい。
（戸車・ドアガイドの固定ボルトをはずす）

①戸車・ドアガイドの付け替え

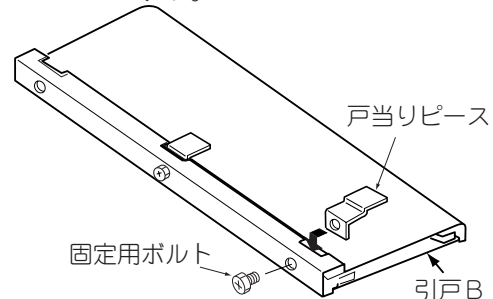
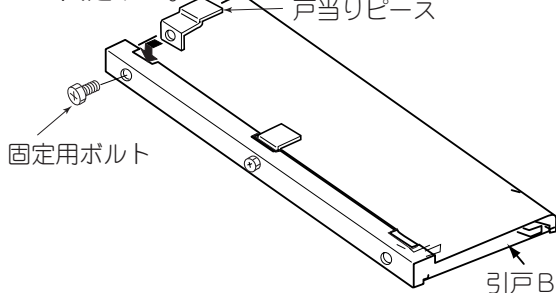
（1）固定用ボルトをはずす。

（2）戸車をはずす。

①矢印方向へスライドさせる。
②戸車を引戸からはずす。

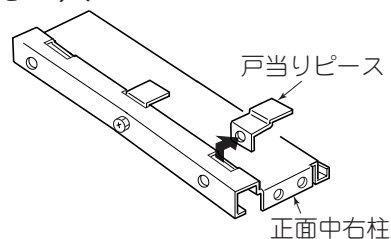
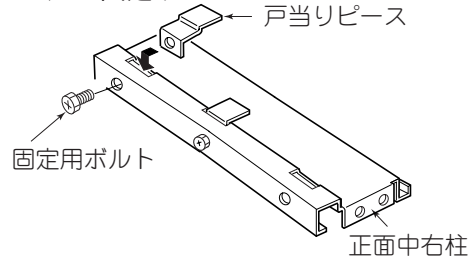
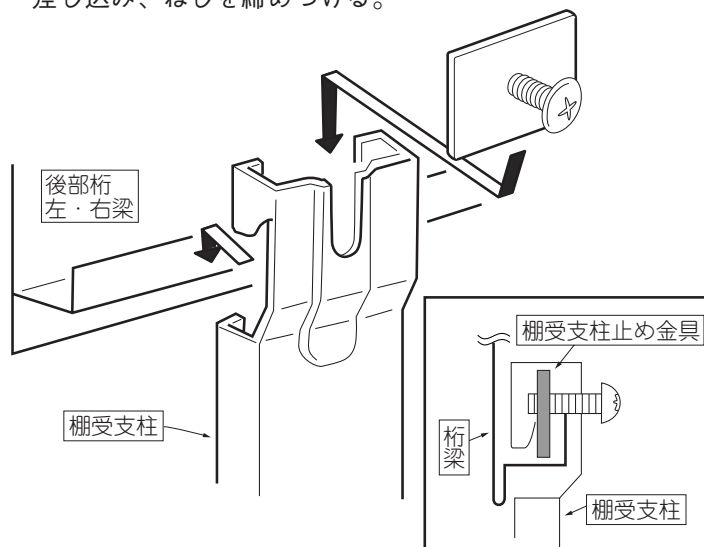
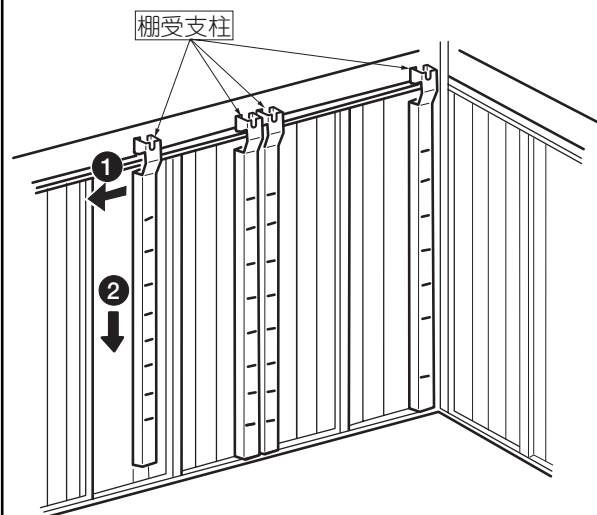
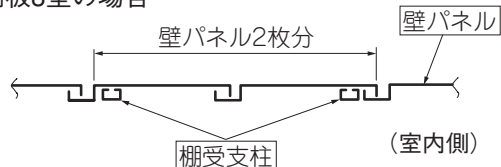
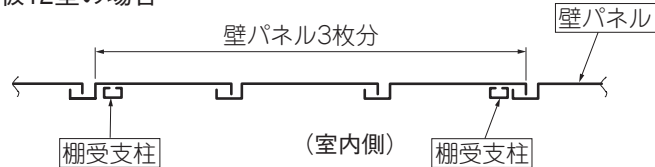
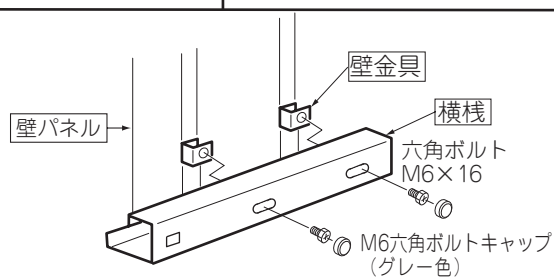
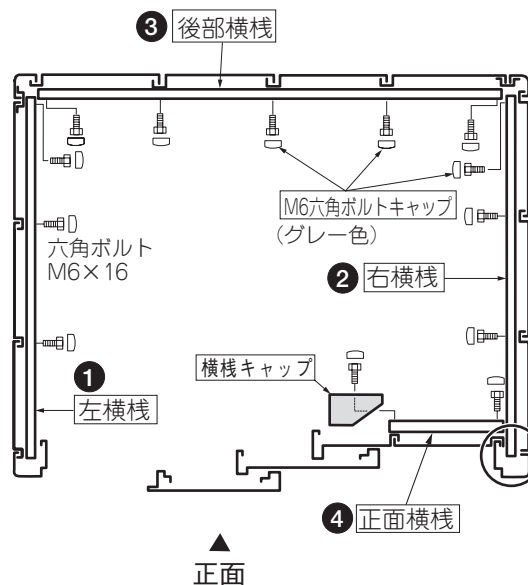
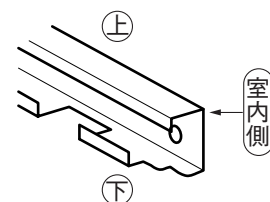
（3）ドアガイトを取り付ける。

①引戸の補強の角穴にドアガイドのツメを差し込む。
②ドアガイドを矢印方向へスライドさせる。

（4）ドアガイトをボルトで固定する。

①（1）ではずした六角ボルトM16×12
（平座金・スプリングワッシャ付）で固定する。

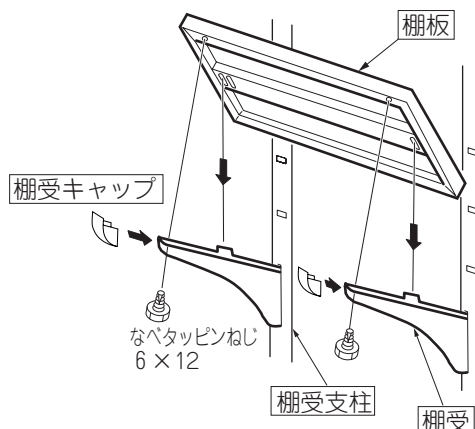
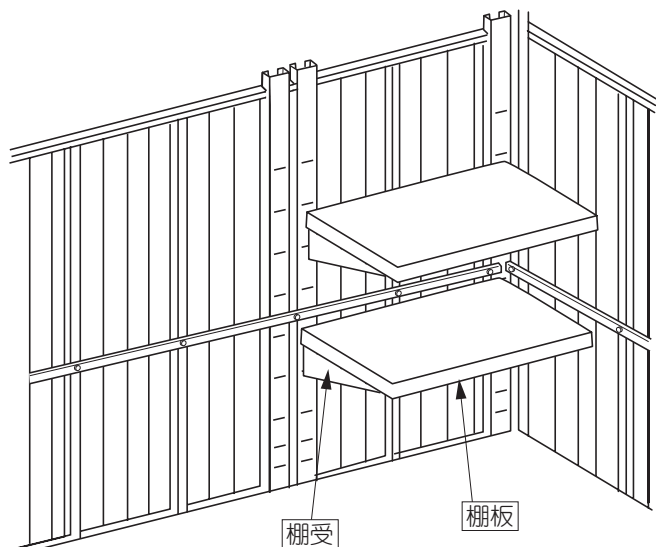
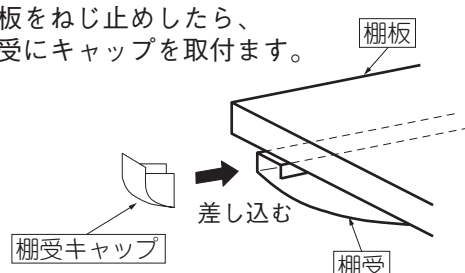
同様にドアガイトを戸車に付け替えてください。
ドアガイドを㊤にし、取付けてください。

②引戸Bのピースの付け替え

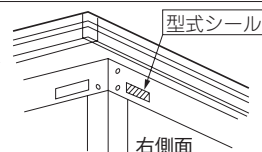
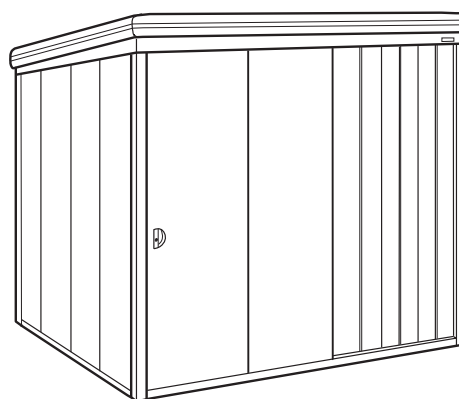
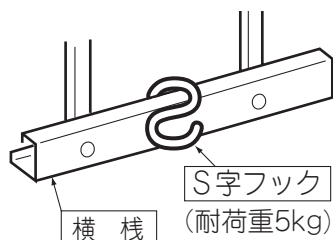
（1）下部の固定用ボルトをはずし、戸当りピースをはずす。

（2）上下逆の位置に、戸当りピースを差し込み固定する。

③正面中柱のピースの付け替え

（1）下部の固定ボルトをはずし、戸当りピースをはずす

（2）上下逆の位置に、戸当りピースを差し込み固定する

⑪棚受支柱の組立 ～棚受支柱を後部桁又は左梁、右梁に取付けます。
取付順序
1. 棚板の取付位置を決め、棚受支柱を取付る。
棚受支柱
❶
❷
2. 棚受支柱を取付け、棚受支柱止め金具を差し込み、ねじを締めつける。
後部桁
左・右梁
棚受支柱
棚受支柱止め金具
桁梁
棚受支柱
● 棚板8型の場合
壁パネル
壁パネル2枚分
棚受支柱
（室内側）
●棚板12型の場合
壁パネル
壁パネル3枚分
棚受支柱
（室内側）
棚受支柱
⑫横桟の組立 ～横桟を柱及び壁パネルに取付けます。
（組立順） 左横桟 → 右横桟 → 後部横桟 → 正面横桟
①『六角ボルトM6×16』にて固定する。
②六角ボルトに『M6六角ボルトキャップ（グレー色）』をはめ込む。
横桟の形状について
上
室内側
下
❸ 後部横桟
M6六角ボルトキャップ
（グレー色）
六角ボルト
M6×16
❷ 右横桟
横桟キャップ
❶ 左横桟
❹ 正面横桟
正面
壁金具
横桟
壁パネル
六角ボルト
M6×16
M6六角ボルトキャップ
（グレー色）
右横桟
壁金具
ツメを差し込む
正面右柱
ボルト止め不要
※左横桟を同様に取付ます。

⑬棚板の組立 ～棚受を棚受支柱に取付、棚板をのせてビス止めします。

● 棚板と棚板の納り

棚板をねじ止めしたら、
棚受にキャップを取付ます。

左右壁の正面側に棚板を取付ける場合は
棚板の内側の角穴に棚受を差し込む

※棚板の配置を変更する場合
①棚板、棚受をはずします。
②『⑫横桟の組立』を参考にし、横桟をはずします。
③設置したい場所に『棚受支柱』を移動し、組立⑪～
順番に組立してください。

お願い

誠に、ご面倒ですが
型式シールを右図の
位置にお貼りください。

以上で完成です。
最後に各部のビス止めのわすれ、ゆるみ、キャップ類
のつけわすれ等がないか確認してください。
※鍵は取手にテープ止めされています。
※ご使用にあたっては、別紙「取扱説明書」をお読み
のうえ正しくご使用ください。

●付属部品の『S字フック』は横桟等に
ひっかけて使用してください。

製品についてのお問い合わせは、下記弊社支店及び営業所
または販売店までご連絡下さい。

本　　社	〒532-0033	大阪市淀川区新高2丁目7番13号	TEL（06）6392-5321	FAX（06）6397-8600
エクステリア事業部	〒285-8650	千葉県佐倉市青菅1042-12	TEL（043）487-6111	FAX（043）487-4413
東京支店	〒130-0024	東京都墨田区菊川1丁目12番5号	TEL（03）3633-6551	FAX（03）3633-6556
大阪支店	〒532-0033	大阪市淀川区新高2丁目7番13号	TEL（06）6392-5556	FAX（06）6395-8257
旭川営業所	〒079-8418	旭川市永山八条5丁目1番地17号（アメニティープラザA-4号）	TEL（0166）48-7740	FAX（0166）48-6855
札幌営業所	〒060-0005	札幌市中央区北5条西1丁目1番地1号（日通ビル6階）	TEL（011）232-3017	FAX（011）232-4825
盛岡営業所	〒020-0832	岩手県盛岡市東見前第9地割字古館78番地	TEL（019）637-8241	FAX（019）637-8243
仙台営業所	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町3丁目6番36号	TEL（022）235-4380	FAX（022）236-6894
埼玉営業所	〒331-0051	さいたま市櫛引町1丁目411番地（グリーンヒル櫛引）	TEL（048）667-9381	FAX（048）667-9385
千葉営業所	〒285-8650	千葉県佐倉市青菅1042-12	TEL（043）489-1481	FAX（043）489-1799
神奈川営業所	〒220-0023	横浜市西区平沼1丁目5番7号	TEL（045）316-3901	FAX（045）316-3904
静岡営業所	〒422-8036	静岡市敷地2丁目9番20号	TEL（054）237-5375	FAX（054）237-6982
名古屋営業所	〒491-0822	一宮市丹陽町伝法寺4360-9	TEL（0586）77-7561	FAX（0586）77-7452
岡山営業所	〒709-0614	岡山市竹原2186	TEL（086）297-9100	FAX（086）297-7412
福岡営業所	〒811-2205	福岡県粕屋郡志免町大字別府（亀山工業団地内）	TEL（092）935-9731	FAX（092）936-2329
広島出張所	〒730-0804	広島市中区広瀬町5番17号（第一中野ビル）	TEL（082）294-9181	FAX（082）294-0331
東京西出張所	〒207-0015	東京都東大和市中央4丁目962-12-101	TEL（042）567-1338	FAX（042）567-1366
工　　場		室蘭・千葉・十三・兵庫・岡山・津山		